

## ランディング・ビーチ

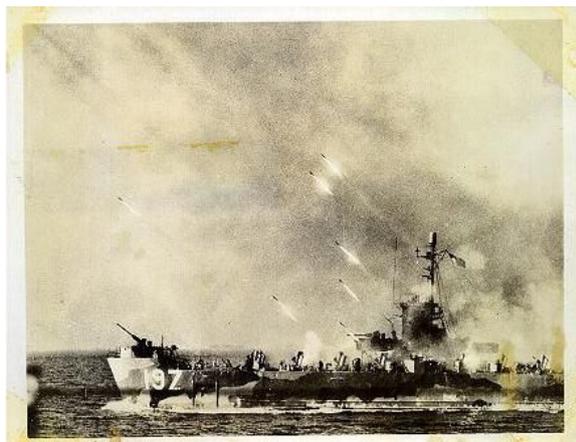
1944年6月15日、米軍の第1次上陸部隊がサイパン島西部のチャラン・カノアの海岸に殺到。上陸の5日前から続いていた米軍の圧倒的な砲爆撃により、地上に暴露していた日本軍陣地や観測所はすでに全壊状態だった。しかし、巧妙に隠蔽されていた重火器や観測所、火砲陣地は比較的軽い損害で生き残っており、突進する米軍の上陸用舟艇や上陸地点へ猛烈な反撃を加えた。米軍は、上陸日以降、実に138,391発もの砲弾を米軍艦艇から発射し、艦載機による空襲と合わせて、上陸部隊の前進を支援した。



チャラン・カノアの海岸に上陸した米上陸部隊は日本軍の激しい反撃に遭い、上陸地点から1ヤード(0.9144m)前進するために1時間を費やしたという。

<http://www.geocities.jp/torikai007/war/1944/saipan.html>

写真はロケット弾による火力支援を行う米軍の上陸支援艦艇



<http://members.at.infoseek.co.jp/ijan/koshashin-usa.htm>



↑圧倒的な戦力差にもかかわらず日本軍も果敢に反撃した。右の写真はサイパンの隣の島、テナアン島を米軍が攻撃する際、日本軍の6インチ砲の攻撃が、戦艦「コロラド」に与えた損傷。



<http://www.geocities.jp/torikai007/war/1944/saipan.html>

↑サイパンの周囲は、サンゴ礁や遠浅のビーチが囲む。米軍のサイパン上陸作戦においては、そうした地形でも座礁せず直接上陸できるように、LVT(水陸両用装軌車)が使用された。写真は、サイパン島に上陸するLVT。